

『スーツケースを持ち運ぶ際、 改札や移動中のストレスを何とかしたい！』

～そんな悩みも一気に解消！～

「縦↔横↔斜め」3通りに走行できる
スーツケースが登場します

5月17日(土)
発売予定

エース株式会社（本社：渋谷区、代表取締役社長：森下宏明 以下、エース）は、今年でブランド生誕10周年を迎えた『プロテカ』より、斜め引き走行ができるジッパータイプのスーツケース「FREE WALKER」（フリーウォーカー）を2014年5月17日（土）より全国主要百貨店専門店にて発売することを発表致します。このフリーウォーカーは改札を通過する際や公共交通機関などにおいて、人に優しく、省スペースで走行することが可能となりました。

◆ なぜ、今“斜め引き”が必要なのか？

近年、改札を通過する際やバス、電車などの交通機関を使用する際、自身が持っているスーツケースが歩行者の足を引いてしまったり、ぶつかることによるトラブルが増えています。

今年は国内・海外旅行者に加え、訪日観光客も昨年以上に増えると予想されていることから、周りに迷惑をかけることなく旅行を楽しんで頂けるよう、体に沿って、より密着させた状態で引くことのできるスーツケースを開発するに至りました。

まわりを
気づかう
やさしさを

2010年以降、エースは商品カタログにマナーマークを表記し、トrolleyの使用マナーを積極的に謳っています。



横引き走行

斜め引き走行

斜め引き走行は、横引き走行と比較し、体により密着させた状態でスーツケースを引くことができるため、**接触事故などのトラブルを最小限に**することができます！

また、キャスターストッパー付きのため、**落下による事故も防止**できます。

POINT

このスペース分、体に密着してスーツケースを持ち運ぶことができます。

◆◆3 パターンの引き方◆◆◆

■ 縦引き走行

体に寄せて、移動したい時。
真横で引ける4輪タテ走行。



マナー良く、安全に。

■ 横引き走行

広い場所をラクに
移動したい時。
安定した2輪ヨコ走行。



スピーディーな移動もラクに。

■ 斜め引き走行

改札や人ごみなど
狭い場所を移動する時。
新スタイル2輪タテ走行。



狭い場所も快適に。

◆◆FREE WALKER を徹底検証◆◆◆

☑ 斜め引きし易いよう設計されたハンドル

斜め引きする際、プルドライブ
ハンドルも横にして引く必要が
ありますが、
このフリーウォーカーは斜めに
倒した際もハンドルが手に馴染み
易いように設計。
ストレスなくスーツケースを引くことができます。



☑ 斜め引きを考慮し、工夫された内装仕様

斜め引きした際、
中の荷物が動いて
しまったり、はみ出して
しまう不安を解消する
べく、内装に固定ベルト、
はみ出し防止カバーを
装備しました。



☑ キャスターストッパーの採用

背面のボタンを押すだけでキャスター
を簡単に止めることができる
キャスターストッパー機能を搭載。



ON

揺れる電車や空港ロビー、
傾斜のある場所など、様々な
シーンで威力を発揮します。



OFF

☑ 安定性を高めた本体デザイン

様々なパターンでスーツケースを引くことを考慮し、
下部を広めに設計することで、安定性を高めました。

☑ 軽量化を考慮した素材、パーツの採用

素材や様々なパーツで軽量化を実現。高い機能性
だけでなく、軽量化も実現しました。

◆◆商品情報◆◆◆

FREE WALKER

フリーウォーカー

新感覚！ 縦、横、斜めの3通りに走行できる、
ジッパータイプのスーツケース

14年5月17日（土）発売予定

日本製



画像：02442-08

《商品名》 プロテカ フリーウォーカー

品番	サイズ	重量	容量	価格（税抜）
02441	55×35×25cm	2.8kg	31L	53,000円
02442	64×43×28cm	3.4kg	53L	58,000円
02443	75×51×31cm	4.2kg	84L	67,000円

《素材》 ポリプロピレン

《カラー》

02. ディープガンメタリック ■ 05. ロイヤルブルー ■ 08. ブロンズオレンジ ■
10. ブライトレッド ■

*Free walker:自由自在に動けるトローリーの意

*サイズは外寸表記です。
*仕様・価格等に変更が発生する可能性があります。

エース株式会社 会社概要

社名 : エース株式会社 ACE CO., Ltd

創業 : 1940年1月1日

資本金 : 14億1000万円

代表者 : 代表取締役社長 森下宏明

従業員数 : 1516名 (2013年12月21日現在・連結)

事業内容 : 旅行バッグ、スポーツバッグ、ビジネスバッグ、ファッションバッグ、スーツケース、
旅行小物などの製造、卸

売上高 : 320億円 (2013年度・連結)

URL : <http://www.ace.jp>

系列会社 : エースラゲージ株式会社、エース物流サービス株式会社、エースサービス株式会社、
株式会社エーストレーディング、株式会社グローバルプロジェクト、ゼロハリバートンInc
ACE ITALIA S.R.L.、SINGAPORE ACE PTE.LTD.、ACE HONG KONG LUGGAGE CO., LTD.

東京本社 : 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前1-4-16 神宮前M-SQUARE

大阪本店 : 〒541-0059 大阪市中央区博労町4-5-2

本件に関するお問合せ

エース株式会社 マーケティング部 横田地（よこたち） 【ブランド表記】ProtecA（プロテカ）

TEL:03-5843-0607 [読者問合せ: 03-5843-0606] FAX:03-5843-0608 Mail:y-yokotachi@ace.jp Hp:<http://www.ace.jp>

《北海道赤平工場》

国内で唯一のスーツケース工場



エースラゲージ株式会社 赤平工場



最新のテクノロジーと、職人技の見事な融合により、年間およそ15万本のハードケース、6万本のソフトケースを生産する日本で最大且つ唯一のラゲージ工場。最新システムとロボットの導入の他、リサイクルできる素材の採用、排水管理システムの導入など、環境保全活動の拠点としての役割も担っています。

1971年5月、北海道赤平市茂尻に完成。現在、建物面積34,569㎡敷地面積110,330㎡を所有。2011年に創業40周年、2014年にはプロテカブランド10年に加え、スーツケースの国内生産50周年を迎えました。



Proteca (プロテカ)

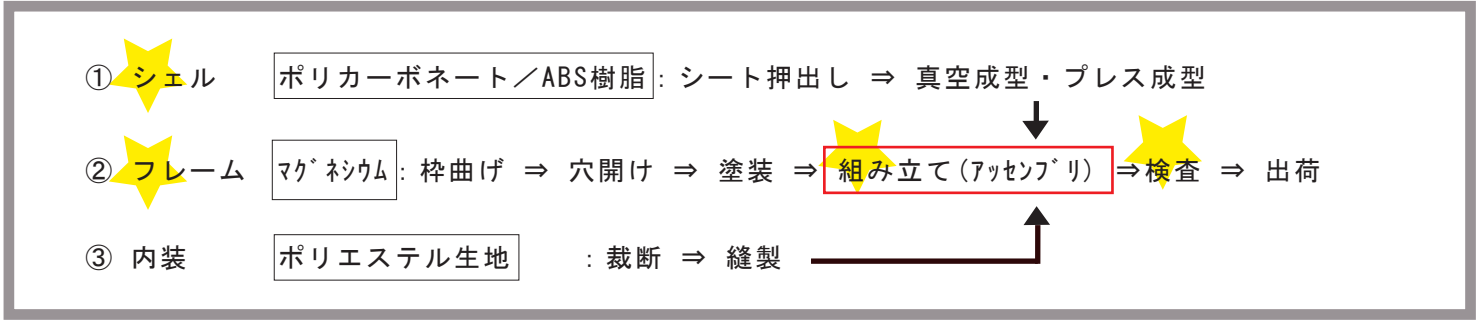
2014年で生誕10周年を迎えるエースの代表的なトラベルバッグブランド。「Protect(守る)」「Technology(技術)」「ACE(エースの理念)」の造語。プロテカのハードスーツケースの殆どが赤平工場の徹底した品質管理の下で製造され、“究極の国産ラゲージ”として市場で販売されています。

フレームタイプで軽量化を実現した「エキノックスライトアルファ」をはじめ、国際線における預け入れ国際基準サイズ内で最大容量を実現した「スタリア イーエックス」や機内持ち込みサイズで最大容量を実現した「マックスパス」、ブランド史上最軽量のソフトトローリー「フィーナ」がその代表作。



スタリアイーエックス

【スーツケースの生産工程(一例)】



シェル

**素材と技術革新の賜物！
従来よりもさらに軽く、強固なボディを実現。**

航空機内でスーツケースが収納されるのは、気温の低いコンテナ部。そこでエースは樹脂メーカーと協力して、低温の状態での様々な衝撃に耐える特殊な樹脂を開発。プロテカに使用されているシェルは、キズが付きにくく、割れにくく、凹みにくく、その上軽量化を実現しています。

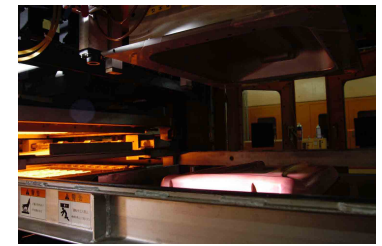
このシェルは、まず特殊樹脂を溶かしたものをシート状に押し出し、カラーシートを熱圧着してカット（再生材をブレンドすることでさらに強度がアップ）。次に成型ですが、従来は成型するとコーナー部分が薄くなり壊れの原因になりがちでしたが、エース独自の成型技術で、どの部分も均一の厚さに仕上がりと、強度が格段に向上しました。



カラーシート



シート押し出し



真空成型・プレス成型

フレーム

**フレームは超軽量・超硬質のマグネシウム96%合金。
開閉し易さ、操作性を向上！**

強固で尚且つ使い易いモノを。プロテカでは、レーシングカーのホイールにも使われている超軽量、超硬質のマグネシウム合金を採用。特殊形状のエースオリジナルフレームをアメリカより輸入し、開閉部の噛み合わせなど操作性を左右する大切な枠曲げ工程は赤平工場で行っています。塗装では、傷が付き難いようにロボットを使用して、フレームにエポキシ樹脂を塗装。塗料がフレームにくい込むような処理を施しているため、はがれにくいのが特徴です。また枠曲げは、底ケースとふたケースとの噛み合わせも非常に重要なので、必ずセットで加工されます。



枠曲げ



塗装

アッセンブリ

**最後の組み立てと検査は手作業！
大切なのは品質へのこだわりと熟練の技。**

どんなに機械化が進んでも、最後の仕上げは人による丁寧な手作業が必要です。例えばケースの内側に貼るウレタンラミネート生地。海外製のもの糊が少なく剥がれ易いことがあります。プロテカではケース内側全面に糊を付けるため剥がれることはありません。またネジの締め方も数値管理によって最も適度な具合で留めることで、開閉のたびにゆるんだり蝶番が壊れたりすることはありません。フレームの隙間の有無、歪み等は人の手で微調整され(右下)、このような細かい点にこそ、純国産ならではの実力が現れます。



組み立て



検査

最高水準の品質を徹底的に追求！ATIで多岐に亘る過酷な品質テストを実施。



ATIとは、ACE Technology Institute（エース品質管理研究所）の略です。エース赤平工場内に設置され、高度な基準に基づく様々な過酷な使用テストを行い、合格したスーツケースだけを出荷。お客様に最高水準の品質と信頼をお届けしています。



転落テスト

重りを入れたケースを、内側に突起のある1辺1.5mの巨大な六角ドラムに入れて転がす。ぶつかったり倒れたりした際の耐久性を測定します。



落下衝撃テスト

重りを入れたケースを120cmの高さから5回落下させ、ボディやキャスターなどの強度を測定します。



ハンドル強度テスト

5000回もの上下運動で、重りを入れたケースのハンドルやロックなどの耐久性を測定します。



キャスター走行テスト

重りを入れたケースを屋外で16km走行させ、キャスターなどの耐久性を測定します。時期によっては室内で行うこともあります。



ボディ表面摩耗テスト

ボディ素材に摩耗テスト用の砥石を1,000gの荷重で押し当て、ボディ素材を250回回転させ、表面の摩耗状態と摩耗量を検査・測定し、摩耗耐久性をテストします。

その他、「開閉テスト」（7500回の開閉を繰り返し、ロックやヒンジなどの耐久性を測定）や「耐湿テスト」（温度約40度、湿度85%の状況下に500時間置くことによる品質測定）、「温度サイクルテスト」（気温40℃、湿度85%のなかに24時間放置したあと、-20℃のなかに24時間放置。これを3回繰り返し耐熱性をテスト）など主に8項目の厳しいテストを実施しています。